

～ 押しつけ活動や形骸化した活動では『人財』は育たない!! ～

快適職場構築による

人員流出防止方法

～ 従業員が自らやりたがる真のボトムアップ活動 ～

【受講対象者】

指示しないと(しても)動かない従業員に悩む経営者や管理職の方
社風や職場風土の改善手法が見つからず悩む経営者の方
有効な従業員教育手法探しに悩む経営者や総務・人事部員の方
従業員が定着せずお困りの経営者や総務・人事部員の方
活動成果が出せず悩むボトムアップ活動事務局の方

【受講のおすすめ】

日々激変する国際情勢と経済情勢、AI、IoT、RAP等の発達により20年後には現在ある仕事の60～70%が消滅と言われてしている経営環境下、もはや過去の成功経験の延長線上に御社の未来はありません。そんな時代に御社が生き残るには、従業員ひとり一人が自分の頭で考え行動しなければなりません。上司の指示を受けてから動くスピード感ゼロの従来のスタイルでは競合他社に後れを取り、御社は近い将来マーケットから淘汰されてしまいます。

そうならないためには、自ら課題(業務や職場の問題点)を発見し、自分の力で対策を立案・実行する『自立型人財』の育成が必須です。しかし、暗記偏重の現在の日本の教育システムからそのような人財は生まれてきません。諸外国人と比べ、日本人は正解のない問題に対処する能力が極端に低い、と言われるのはそのためです。御社の未来は『自立型人財』を自社内で育成できるかどうかにかかっています。

巨額の費用とマンパワーを要するトップダウンによる業務改革プロジェクトは、従業員側から見て「やらされ感」が強く、期待するほど人財は育ちません。『自立型人財』は自分の悩み・お困りごとを自力で解決する活動(=心底やりたい活動)をボトムアップで推進しない限り輩出されません。

そのボトムアップ活動を代表する①QCサークル(職場小集団)活動 ②改善提案活動 の2つが始まったのはなんと60年も昔のことで、今日形骸化が著しく、はっきり言って賞味期限切れです。そこで当セミナーでは令和の時代にも通用する『自立型人財育成システム』の自社構築方法についてお教えいたします。

『自立型人財育成システム』の3ステップ

- ① 課題(業務や職場の問題点)を、従業員自身に気付いてもらう。
- ② 課題の対策を、従業員自身の力で立案してもらう。
- ③ 立案した対策を、従業員自身の力で実行してもらう。

当セミナーは、前職で長らく人財育成に携わった講師の成功体験・失敗体験から生まれた実践的なメソッドを、生々しい事例紹介を通じて学べる唯一のセミナーです。

世界の陸地面積のわずか0.3%の狭小な国土、石灰岩を除く主な天然資源はほぼ全量輸入

という我が国が、戦後半世紀に亘りアメリカに次ぐ経済大国だった理由はひとえに『人財』が他国を圧倒していたからにほかなりません。今その『人財』が危機的状況にあります。

当セミナーでご紹介する『人財育成システム』は、自社内で金と時間をかけることなく『自立型人財』を多数育成できます。その結果御社は、日々激変する経営環境に対応し仕事のやり方を柔軟に変える社風となり、従業員も定着し末永く事業を継続することができます。

当セミナーで習得できるノウハウ

ボトムアップ活動による自立型人財の社内育成方法、QCサークル(職場小集団活動)・改善提案活動以外のボトムアップ活動とその立ち上げ方、自己啓発を促進する職場環境の作り方、ボトムアップ活動に対する従業員のニーズの高め方、トップダウン活動を成功させる秘訣

【講師】

株トータルマネジメントシステム研究所 代表取締役 角川 真也 (つのかわ まさや)

中堅部材メーカーにおいて社内コンサルとして間接業務の「見える化」「最小化(ムダ取り+効率化)」「標準化」手法を全社展開、生産性を300%向上させ会社倒産の危機を救う。独立後は『組織マネジメントシステム(ERP)』自社構築による間接業務の生産性向上手法普及に専従。数値データ(時間・金額)を駆使した科学的マネジメント手法による組織パフォーマンス向上を得意とする(「TMS研」でHP検索可)。セミナー開催実績:92回/12年、受講者累計:998名、受講者評価:平均77.8点、著書『R&D部門の働き方改革とその進め方』(技術情報協会刊・共著)

【プログラム】(一部抜粋)

1. なぜ『自立型人財』は育たないのか?
 - 4) 教育するから『人財』は育たない

2. どうすれば『自立型人財』は育つのか?
 - 1) 社員教育「強要」から自己啓発「促進」への発想の転換

3. 従業員の本音を「見える化」する『従業員アンケート』
 - 8) 「従業員のやりたい活動」=「従業員の悩みを解決する活動」

4. 従業員の「悩み・不満・困りごと」を解決する『ボトムアップ活動』
 - 1) 改善報告活動
 - 2) 職場快適化サークル活動(事務所)
 - 3) 5Sサークル活動(現場)
 - 4) 知的財産データベース構築活動
 - 6) 私が目の当たりにした「奇跡」とは?

5. トップダウン活動とボトムアップ活動
 - 4) トップダウン活動の「成功の秘訣」とは?

6. 人財育成システムは御社をどう変えるのか?
 - 1) 直接効果
 - 2) 間接効果

7. 質疑応答